

令和5年3月6日

保護者様

名古屋市立港明中学校長
福島 多佳久

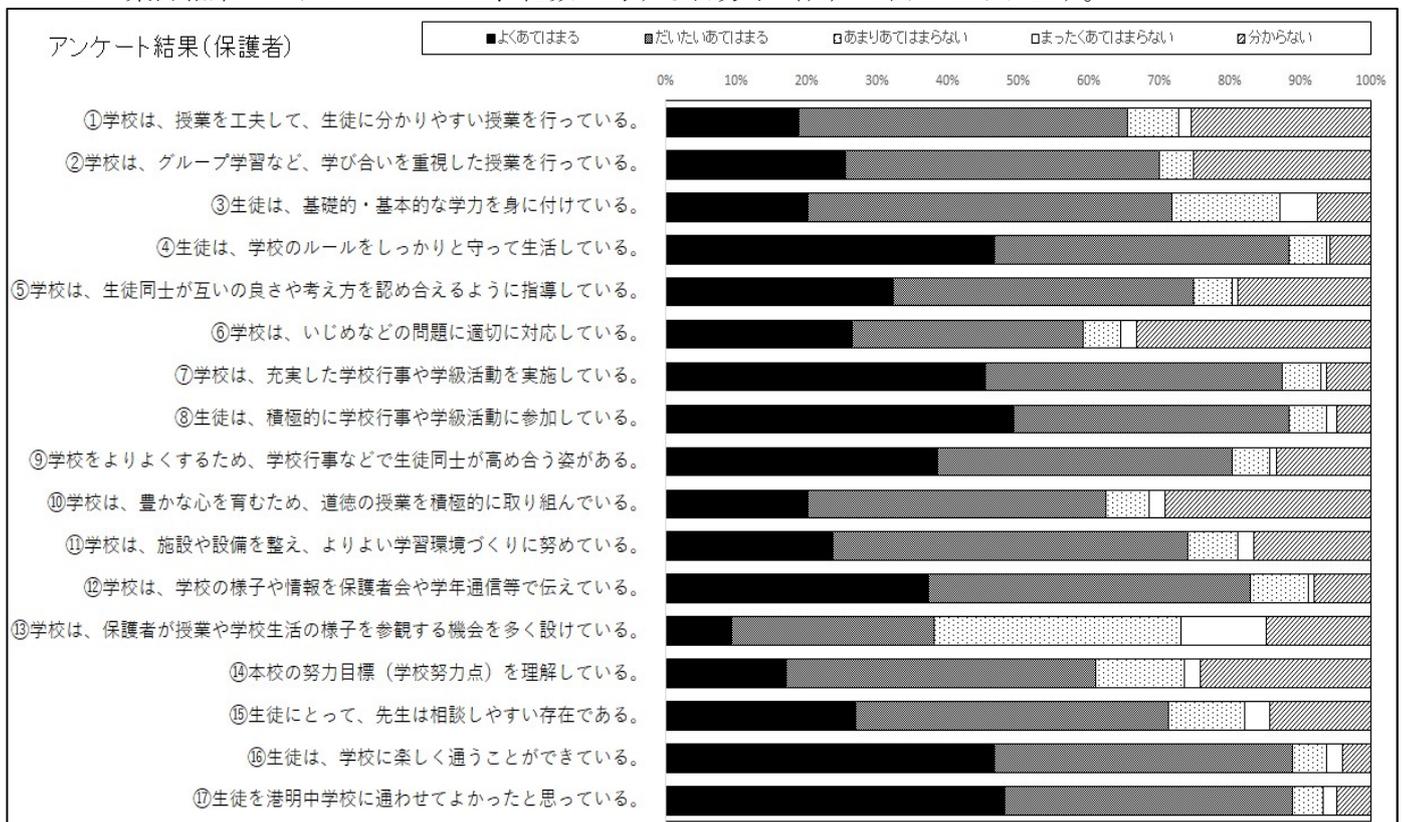
学校教育に関するアンケート結果について

向春の候、日頃は本校教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、先日は港明中学校教育アンケートに関して、多数のご回答とご意見をいただき、ありがとうございました。本校では、開かれた学校づくりの一環として、また学校改善に生かすための手立ての一つとして、2月に保護者の方に学校教育に関する評価をしていただきました。ご協力に感謝するとともに、アンケートを以下のように集約・分析しましたのでお知らせします。また、全校生徒にもアンケートを実施しましたので、併せて結果をお知らせします。

○ 港明中学校教育に関するアンケート(保護者アンケート)について

※ 集計結果のグラフについては、総数に対する百分率(%)で表してあります。



保護者アンケートでは、⑥、⑩、⑭の項目で「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した割合が約60%とやや低い結果となりました。また、①、②、⑥、⑩、⑭の項目で「分からない」が高い結果となりました。中でも、いじめなどの問題に対する対応や道徳の授業の取り組み、努力点への理解については、「分からない」という回答を含めると、約40%の保護者が適切に指導されていると感じられていないことは、依然として大きな課題と考えます。学校のルールを守るなどの規範意識を高くもたせながら、互いの個性やよさを認め合い、温かい人間関係を構築することができるよう、道徳教育の充実など教育活動の一層の改善を図ります。また、④「学校のルールをしっかりと守っている」、⑦と⑧の「学校行事等に対する取り組み」、⑯「学校に楽しく通うことができている」では、本年度も高い結果となりました。これは、新型コロナウイルス感染症予防によって様々な制約がある中でも、生徒が有意

義な学校生活を送り、高い規範意識と行事への参加意欲をもつことができていることを示していると考えます。本校の教育活動の充実のために、今後も継続して取り組んでいきたいと思ひます。しかし、感染症対策を講じていたため、お子様の学校生活の様子を参観する機会をもつことができなかつたことは、とても残念に思っております。来年度以降、本校の努力点にもある「ますます学ぶ」姿勢を身に付けることができる学習を推進するために、基礎学力の定着をより一層図り、生徒が家庭でも「授業が楽しかった」「よく分かつた」と言えるような授業の実現に向けて、タブレットなどのICTを効果的に活用していきたいと思ひます。そして、教育活動に関する取り組みを保護者と地域の方々から広く理解されるように、参観できる機会を充実させていきたいと思ひます。

○ 学校生活に関するアンケート(生徒アンケート)について

※ 集計結果のグラフについては、総数に対する百分率(%)で表してあります。



生徒アンケートでは②、③の項目で「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」が50%を下回る低い結果となりました。①の項目より「授業は分かりやすい」と考えている生徒は多いものの、その日の学習を定着させるために復習に取り組んだり、授業で分からない内容を先生に質問したりすることができていないと考える生徒が多くおり、学力の定着に向けて取り組もうとする姿勢が身に付いていないことがうかがえます。しかし、④、⑤の項目より、学び合いを通して、自分の考えを発表できたり、授業の内容の理解が高まったりしていると考えられる生徒が多くいると考えます。今後も、ICTを効果的に活用し、分かりやすい授業や生徒が自主的に学習したいと思う授業を目指します。また、テスト期間中の学習会の実施や、休み時間や授業後にも相談や質問をしやすい環境づくりをしていくように努めます。

さらに、⑥、⑦、⑨、⑩などの項目でも高く、しっかりとルールを守り、仲間と共に高め合いながら学校生活を送ることができていると考えます。また、⑫、⑬、⑭の項目も高いように、コロナ禍においても何ができるかを生徒自ら考えて、前向きな姿勢で学校行事などに取り組むことができていると考えます。今後も、活動の仕方を工夫しながら生徒が活躍できる場面を設定し、仲間や家族とともに、地域を愛し、愛される学校を目指し、教育活動に取り組んでいきます。